

さいたま市スタイルの確立にむけて 新年度スタート!

平成29年度 定期総会・懇談会

子どもたちのために気持ちをひとつに



6月10日(土)、市民会館おみや小ホールにて、細田眞由美副会長、齋藤芳尚埼玉県PTA連合会会長をはじめ、多数の来賓を迎え、市内各校のPTA会長が出席し、定期総会が開催された。すべての議事が慎重審議の基、満場一致で承認された。

また、細田副会長より「PTA活動の活発な学校ほど、子どもたちは明るくて活動的」とのお話を頂戴した。続いて広報紙コンクルの表彰式と総会後には「さいたま市優良受賞校のPTA会長の笑顔が印象的だった。引き続き懇談会が開催された。和やかな雰囲気の中、桶本大輔市議会議長も駆けつけてくださり、盛んに情報交換が行われた。

事業計画

- 4月 広報紙コンクル 役員研修会
- 5月 広報紙づくり講習会
- 6月 定期総会・懇談会
- 7月 日本PTA全国協議会定期総会 役員セミナー
- 8月 広報紙発行
- 9月 日本PTA全国研究大会仙台大会 指定都市PTA情報交換会大阪大会
- 10月 館岩視察研修環境整備 教育委員会交流会
- 11月 関東ブロックPTA研究大会群馬大会
- 12月 役員研修会人権研修会
- 1月 PTA活動総合補償制度説明会
- 2月 教育委員会懇談会
- 3月 広報紙発行

青羽会長あいさつ

保護者の多様性に応じた

さいたま市の活動スタイルを

青羽会長に今年度の抱負を伺いました



さいたま市PTA協議会 会長 青羽 章仁

昨年年度に引き続き会長を務めさせていただく事になりました。今年度も皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

今年度の抱負をお聞かせください

昨年、PTA活動に対して、メディア等を通じて様々な意見が言われております。また、私たち子どもたちを取り巻く環境の中で、全国的にあつてはならない、信じられないような事件も多数起こっています。子どもたちの健全育成を願う私たち保護者は、今だからこそ活動の原点を見直し、保護者として気持ちをひとつにしていく事が重要です。また、その活動は地域の環境や特色によって様々であり、また様々であるべきだと考えています。

確かに、PTA活動も地域の特性がありますね

つまり、日本各地で起こる議論や意見に左右されることなく、良い事例や参考になる事をしっかりと選別して取り入れ、

地域にあった方法を模索していくべきだと思います。そのためには、私たち自身も自発的、積極的に活動方法についての議論を深めていかなくてはなりません。時代が変わり、仕事や環境など様々な事情で、気持ちもあり、会員でもあるが、活動に参加できない保護者の方も増えました。その一方で、複数年に渡って役員等の実務で協力くださっている方もおられます。しかしどの保護者の方々も、子どもを思う気持ちには変わりありません。仕事量の不平不満ではなく、互いに同じ地域で、同じ世代の子育てをしている保護者として、尊重し合っていく姿がそこにあることを、私は信じています。

家庭環境が多様化しても子どもを思う気持ちは同じですね

私たちの活動はボランティアではありませんが、人に言われたからやるのではなく、子どもたちのために自ら進んで活動するからこそ、より子どもたちにも伝わるのではないのでしょうか。それが、地域の方々や行政に伝わり「子どもたちは地域の宝」と、より力強く思っていただけなのだと確信しています。

私はこのような考えを基軸にして、さいたま市の活動のスタイルを確立していきたいと考えています。ぜひ、子どもたちの素晴らしい環境づくりのために、共に進んでいきましょう。

活動方法を模索しながら、共に「さいたま市スタイル」を作っていくことが大切です。ありがとうございます。

新役員紹介

委員長
副委員長

青羽 章仁	紅谷 弘二	佐久間 健志
野上 一昭	伊橋 勲	合谷 竜一
鈴木 二美子	茂木 一久	松本 淳
遠藤 孝明	渡邊 哲也	田中 克典
杉本 浩一	藤井 健志	横田 松博
齋藤 和美	田中 繪里	井澤 孝行
宮原 孝(T)	山崎 栄	岡野 育広
南 彰男	山田 圭介	國分 隆之
宮島 和宣		杉本 浩一
遠藤 孝明		鈴木 二美子
鈴木 二美子		青羽 章仁
阿部 達哉		野上 一昭
今川 夏如		齋藤 和美
浅野 敬尚		遠藤 孝明
杉本 浩一		
佐藤 度		
増岡 昌行		
今溝 良司(T)		
渡辺 良憲		



楽しく、明るく、前向きに。

PTAは学校・地域子どもたちのサポーター

役員研修会

昨年からは新規事業として始まった役員研修会が、4月19日(水)、市民会館おみや大ホールにて新旧会長・副会長・会計を対象として125校249名の参加のもと開催された。研修会は予備知識をつけておくことで各学校でのPTA活動に対して理解を深められるようにと4部構成で進められた。

第一部「PTAについて」では、PTAの目的から、基本的な事務手続きの仕方までをスライドを使って説明。青羽会長の講話では「PTAに関わることを嫌がる人も多いが、メリット・デメリットを考える前に、自分の子どもと関わる貴重な機会を得られたと前向きにとらえてほしい」と話があった。

第二部「PTA会費について」では、会費の正しい使い方、寄附・監査・支出についてを顧問会計士である川本泰正氏より説明があり、保護者から預かっている大切なお金を、しっかりと目的を定めて使うことの大切さを学んだ。

第三部、第四部では、スライドを使って地域連携や、おやじの会の説明があった。

参加した新会長からは「PTAは家庭・学校・地域の架け橋となり、子どもたちのために何が最善なのかを悩みながら、協力して進めていくことが大切だとわかりました。」との感想があった。



PTAについての説明からスタート

シリーズ 区P連紹介



さいたま市PTA協議会は10区の連合会（区P連）で構成されている。区P連はそれぞれ特色のある運営を行っている。そこで、なかなか知る機会の少ないその活動の様子をシリーズで紹介する。今号では南区を取り上げる。



さいたま市の南端に位置する南区は、市内で人口が最も多い。29年度は約1万4千名の児童生徒が毎日元気に学校生活を送っている。
南区PTA連合会は、小学校14校・中学校7校の計21校で構成され、「地域とふれあい 深める絆 育もう子どもの未来」をスローガンに日々活動している。年9回の南区理事会では21校のPTA会長が集い、区連事業・共催事業・地域連携事業に関する事項や、各校の課題等の話し合いを行っている。
ここでは、いくつかの事業を紹介したい。

21校の交流 「南区PTA情報交換会」

年度初めに「南区PTA情報交換会」を開催している。各校副会長を中心に本部役員が集まり、自校の課題を相談したり、他校の失敗例・成功例などを聞き、今後の単会PTA活動の参考になる事業となつている。また、副会長同士の交流の場ともなっている。



一緒に考えましょう さわやか相談室

「南区PTA連合会フォーラム」では、さいたま市内中学校に配置されている、さわやか相談室を多くの方々に知って頂き活用してもらう事を目的に、さわやか相談員と直接話せる場を提供している。南区内中学校に配置されている6名のさわやか相談員を中心に、各テーマ別グループにわかれディスカッションを行っている。「さわやか相談員さんを身近に感じる事が出来た」「相談してみたいと思った」「どんなことをするのか良く理解出来た」などの意見を頂いた。
また、フォーラム1部として、さいたま市教育長をお招きし、さいたま市の教育についてご講話頂いた。今後も参加して意味のあるフォーラムを継続していきたい。



未来につながるアート

毎年3月にさいたま市文化センターを中心に開催される「南浦和アートフェスタ」に協力している。子どもたちが一日楽しくアートにふれ体験出来る様に、各校本部役員を中心に多数の方々にご協力頂いている。

3月上旬より、まちなかアートとして南浦和駅・武蔵浦和駅構内に近隣小学校児童が作成したアートフラッグや、南浦和文化通りに南区内中学校美術部員の作品が飾られ、道行く人々の目を楽しませている。
当日は、小学校1年生が作成したアートフラッグがさいたま市文化センターに飾られ、場を華やかにしている。



広報紙づくり講習会

企画の立て方や見出しの作り方など
初挑戦のPTA広報担当者

平成29年5月18日(木)、コルソホールにて、日本教育新聞社取締役の矢吹正徳氏を講師に招き広報紙づくり講習会が開催された。講習会はワークショップ形式で行われ、市内各校PTAより250名を超える広報担当者が参加した。

第一部は過去の入賞広報紙や新聞記事を参考に、紙面をより良くするための工夫や特集となる企画立て、読みたいたいと思わせる見出しの作り方を学んだ。参加者のほとんどが広報紙づくりに初めて挑戦する方ばかりなので、講師は質問に答えながら丁寧な説明、細かなアドバイスを交えていた。
第二部は実際の新聞記事の切り抜きを使用し、レイアウトや見出しの配置など、具体的な構成を考えながら実践的な紙面作りが行われた。いざ紙面作りをしてみると、どのテーブルも悪戦苦闘。やっと思いで出来上がった紙面は前に貼り出され、講師による講評が行われた。



アドバイスを受ける参加者

参加者からは「大見出しや小見出し等、見出しの使い分けが分かってよかった」「今年は大胆に紙面を変えてみたいと思った」との声が寄せられた。
講習会が終わると参考展示されていた「広報紙コンクール」の受賞作品を大勢の参加者が熱心に見入っていた。



祝 さいたま市PTA協議会 広報紙コンクール 受賞作品一覧

★小学校の部



- 優秀賞** 日Pコンクールへ出品
つなぐーなかじまPTA
おおさと
ときわ
ウイング美翔
諏訪
なかもと
見沼小
仲町小
中尾小
神田小
高砂小
北浦和小
東宮下小
野田小
向小
- 佳作**
みめま
むつみ
なかお
よしたけ
たかさご
北浦和
東みやした
のた
わかば

★中学校・特別支援学校の部



- 優秀賞** 日Pコンクールへ出品
ももがこ
ときわ
つごい
東風(こち)
本太中
常盤中
土合中
与野東中
- 佳作**
西中PTAだよりー大樹
与野西中
大宮南中
八王子中
田島中
与野南中
南十字星
与野南中
- 祝** 平成29年度優良PTA団体表彰 受賞校
本太小学校 岸町小学校 芝川小学校
七里中学校 与野東中学校

団体割引30% 損害率による割引25%適用により 保険料が割安です!

さいたま市PTA協議会 「児童・生徒ワイド補償制度(団体総合生活保険)」中途加入受付中

現在ご加入者数は 約15,900名! ※5月30日現在

個人賠償責任 高額な賠償にも備えを!

◆昨今の自転車事故増加による高額な賠償責任にも備える為に全てのプランは支払限度額1億円!

「示談交渉サービス」付(国内のみ)で 万が一の事故の際にも安心です!

けがの補償 24時間補償で安心!

◆学校内でのけがはもちろん、休日も含め24時間けがを補償!
◆地震等、天災によるけがも補償!
◆細菌性食中毒(ノロウイルス等)や熱中症による死亡・後遺障害・入院・手術・通院も補償!

育英費用補償 「扶養者」の万が一にも!

◆保護者(扶養者)の方が「急激かつ偶然な外来の事故」によってお子様を残して突然命を落とされたり、重度の後遺障害を被ってしまった場合には「育英費用補償」でサポート!

当制度のお問い合わせ先・パンフレットのご請求先

- 【事務局】
さいたま市PTA協議会
「児童・生徒ワイド補償制度」係
〒330-0846
さいたま市大宮区大門町3-1
大宮区役所東館1F
- 【お問い合わせ先】
取扱代理店:東海日動パートナーズEAST
〒330-0063
さいたま市浦和区高砂2-2-3
TEL:0120-634-854
受付時間:午前9時~午後6時
(土・日・祝日を除く)



ご好評につき、「中途加入」を 9月30日(土曜日)まで受付いたします。詳しくは左記取扱代理店までご連絡ください。

- 引受保険会社:東京海上日動火災保険株式会社(幹事会社)
担当支社:埼玉中央支店新都心支社
さいたま市大宮区桜木町1-10-7 TEL048-650-8378
非幹事保険会社:あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
AIU損害保険株式会社
損保ジャパン日本興亜火災保険株式会社